

平成25年度 佐渡市特別活動部 活動報告

部長 矢田 久子

1 研究主題

「よりよい人間関係を築く指導の在り方」

2 事業の概要

新学習指導要領において、道徳的実践の指導の充実を図るとともに、豊かな人間性や社会性、自立性を備えた児童を育てることが強調されている。そのために、「よりよい人間関係を築く」ことや、「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」ことが目標に加えられている。佐渡市の特別活動部では、その2点を重視して前々年度から継続した研修を進めている。

今年度は、昨年度好評であった構成的グループエンカウターの指導法についての研修を更に深め、指導力の向上を図ることを目的として以下のような事業を行った。

3 事業の実際

4月	第1回専門部会 ・ 研修テーマ及び研修方針の検討 ・ 活動計画の立案
8月	第2回専門部会 【講義・演習】 「構成的グループエンカウターの指導法について」 講師 佐渡市立二宮小学校 教頭 黒川 健 様 (内容) ○ 構成的グループエンカウターの理論や方法の講義 ○ 構成的グループエンカウターの演習 ・ インストラクション ・ ウォーミングアップ ・ エクササイズ ・ シェアリング  【教育課程伝達講習会】 伝達者 佐渡市立新穂小学校 教諭 宇佐見 陽子 佐渡市立八幡小学校 教諭 小柳 由紀子 (内容) ○ 研究員の実践レポート紹介 ○ 教育課程の課題や改善点 ○ 文部科学省の資料紹介 等

4 成果と課題

事前に部員から、構成的グループエンカウターの指導経験や質問等についてのアンケートをとり、講師の黒川先生にお伝えしてから研修会を実施した。そのため、部員の要望に添った講義・演習をしていただくことができた。特に、演習では、様々なエクササイズを体験させていただくことができ、会場全体が楽しく和やかな雰囲気にも包まれた。参加者からは、「短時間でも行えるエクササイズを知ることができた。」「ぜひ自分の学級でも取り入れていきたい。」などといった声が聞かれ、有意義であった。今後は、実践の様子を情報交換する機会を設けていきたい。